

小樽市総合博物館 鉄道歴史体感プログラム

文化庁の令和3年度 Living History(生きた歴史体感プログラム)促進事業の補助金などを活用し、小樽市総合博物館の蒸気機関車アイアンホース号の客車を明治期の雰囲気を感じられる仕様に整備している。整備している3両は、それぞれ明治期の一等客車、三等客車、石炭貨車を模して、北海道最初の鉄道である幌内鉄道でも運用されていた貨客混合編成をイメージしている。一等客車は令和3年10月に完成し、お披露目を行った。残りの三等客車と石炭貨車は現在製作中で、2月までに完成を目指している。ゴールデンウィークからは、それらの客車を蒸気機関車アイアンホース号が牽引し、入館者らが走行の様子を観覧したり体験乗車したりすることで、明治期の鉄道歴史を体感するプログラムを実施していく。



三等客車 一等客車 石炭貨車
アイアンホース号が牽引する貨客混合編成の車両(イメージ)

小樽の文化財を活用した鉄道歴史体感プログラム 「北海道における明治期の鉄道歴史体感」

①貨客混合列車運行開始セレモニー(4月29日予定)

ゴールデンウィーク初日の4月29日(祝)から、貨客混合列車による運行観覧、体験乗車を始める。それにあたって、関係者らによる運行開始セレモニーを計画している。三等客車と石炭貨車については初お披露目となる。貨客混合列車の出発にあたって、明治期にも行われていたように、出発の合図として鐘も鳴らすなどのイベントも実施する予定。

②貨客混合列車を牽引したアイアンホース号の運行(4月～10月)

令和3年度まで従来の客車で運用されていたアイアンホース号の運行を、整備した新客車を活用して運用する。明治期の貨客混合編成をイメージした「一等客車、三等客車、石炭貨車」と、重要文化財「旧手宮鉄道施設」を活用することで、往時の鉄道運行システムを再現し、明治期の鉄道歴史を体感できるような魅力ある動態展示を行う。

③特別企画「アイアンホース号の機関車庫三号からの出庫」(夏頃)

「旧手宮鉄道施設」の基軸となる機関車庫三号からアイアンホース号が出庫するイベントを実施する。

④特別企画「フラッグステーションで乗降しよう！」(秋頃)

幌内鉄道開通の頃、ホームのない仮乗降駅では乗客がいるときにだけ旗を掲げて汽車が停車するというフラッグステーションがあった。その状況を再現するために、駅員が旗を掲げ、アイアンホース号を通常運行では停車しない線路途上で停車させ、乗客に乗降してもらうイベントを実施する。